

現状と課題等	基本方針		観光戦略・アクションプラン	推進体制														
	目標等の設定	観光方針																
<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客数：約 500 万 特徴：観光資源が豊富で鉄道網、道路網が発達しており京都、大阪、奈良などの大都市や観光地からのアクセスが良い 観光資源：歴史遺産、宇治茶、自然・景観、歴史文化（源氏物語） 観光形態：歴史遺産などの鑑賞や宇治川周辺の街歩きなど <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信が不足 駐車場不足などの交通問題 観光案内機能等の不足 インバウンド対策の不足 宇治茶ブランドを活かせていない リピーターが京都市内と比べて少ない リピーターがお金を使わない 	<p>基本理念・目標</p> <p>宇治市には歴史遺産、宇治茶、自然・景観、歴史文化など、古来より受け継がれてきた貴重な財産があります。これらは市民にとってかけがえのない財産であると同時に、宇治を訪れる観光客にとっては、魅力的な観光資源です。宇治市にしかない貴重な財産を市民全体で大切に守り、次代に引き継ぐとともに、多くの観光客に選ばれる、観光都市・宇治のブランド力を高めます。</p> <p>コンセプト</p> <p>『宇治茶と歴史・文化の香るまち』 *調整中</p> <p>数値目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>年目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飲食利用率</td> <td>85% H23:76%</td> </tr> <tr> <td>お土産購入率</td> <td>85% H23:74%</td> </tr> <tr> <td>観光満足度</td> <td>85%以上 H23:69%～95%</td> </tr> <tr> <td>リピーター率</td> <td>70% H23:58%</td> </tr> <tr> <td>京都観光の宇治訪問率</td> <td>60% H23:47%</td> </tr> <tr> <td>宇治茶を目的とする宇治訪問率</td> <td>30% H23:15%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	年目標	飲食利用率	85% H23:76%	お土産購入率	85% H23:74%	観光満足度	85%以上 H23:69%～95%	リピーター率	70% H23:58%	京都観光の宇治訪問率	60% H23:47%	宇治茶を目的とする宇治訪問率	30% H23:15%	<p>観光都市・宇治のブランド力を高める</p> <p>方針1 宇治らしさを極める</p> <p>方針2 おもてなし力を極める</p> <p>方針3 情報発信力を極める</p> <p>観光方針1 宇治らしさを極める (観光資源の充実) ・宇治茶ブランドの活用 ・観光資源の保全と発掘 ・商品開発力の強化</p> <p>観光方針2 おもてなし力を極める (受入態勢の充実) ・事業者のおもてなし力の向上 ・市民のふるさと意識の醸成 ・観光基盤施設の充実 ・インバウンド対策の充実</p> <p>観光方針3 情報発信力を極める (情報資源の充実) ・インターネットを活用した全国・世界への情報発信 ・観光客のニーズに応じた情報発信</p>	<p>1. 宇治茶ブランド活用戦略 宇治茶に染まる観光の推進 宇治茶を活かした新たな食文化の開発・提供 宇治茶を守り、後世に伝える事業の推進</p> <p>2. 豊富な観光資源の保全・活用戦略 世界文化遺産等の歴史遺産の活用 自然・景観の保全・整備 源氏物語のまちづくりの推進</p> <p>3. 観光コンテンツ開発と魅力向上戦略 新たな観光コンテンツの開発 歩く宇治観光の推進 観光事業者（商店街・個店）の魅力向上の推進</p> <p>4. おもてなしの心を持った人材育成・環境整備戦略 おもてなし力・市民意識の向上 観光案内の充実 安全・快適に市内を観光できる環境の整備</p> <p>5. 情報発信力向上戦略 情報発信力の強化 観光プロモーションの強化</p>	<p>組織等の役割</p> <p>観光事業者等の役割 観光振興の原動力としての意識を持ち、最高の商品・サービスを提供する。</p> <p>観光協会の役割 情報発信と収集を行い、先進事例を紹介するとともに、異業種連携等のプラットフォームとなる。</p> <p>市民の役割 宇治市の歴史・自然・文化に誇りを持ち、観光まちづくりへの関心等を持ち、観光客をあたたかく迎える。</p> <p>行政の役割 観光の重要度を認識し、関係機関等との連携を図り、計画の実現に向けた取り組みを行う。また、歴史や自然などの宇治市の財産を次代に継承する。</p> <p>フォローアップ体制</p> <p>観光協会：策定専門委員会を改編し、事業者、社寺仏閣、商工会議所、商店街、茶業等による新しい組織を設立する。</p> <p>行政：観光関連課で組織する庁内ワーキングに観光協会を加えた新しい組織を設立する。</p> <p>観光協会と行政が連携を密にして本計画の進行管理を行う。また、5年後には実績や効果などを総合的に検証し、後期アクションプランを策定する。</p>
項目	年目標																	
飲食利用率	85% H23:76%																	
お土産購入率	85% H23:74%																	
観光満足度	85%以上 H23:69%～95%																	
リピーター率	70% H23:58%																	
京都観光の宇治訪問率	60% H23:47%																	
宇治茶を目的とする宇治訪問率	30% H23:15%																	

第2回宇治市観光振興計画策定委員会等からの指摘を受けての修正

前回の策定委員会の中でいただいたご意見の中で、もう少し工夫が必要ではとの指摘があった部分が2点ありました。

1点目は、計画が複雑になると市民に分かりにくい。シンプルにまとめる方が良い。

2点目は、コンセプト案「宇治茶と歴史・文化の香るまち」について、宇治茶を除くとこの町にもあてはまるフレーズになる。日本のアイデンティティーの全てが揃っている部分を方針に含めては。

とのご指摘について、事務局で再度検討し、以下のような修正を検討しました。

1点目の指摘に対しては、計画の理念と目標が似た内容になっていることから、理念と目標を一本化し、以下のように修正してはどうかと考えています。

計画の理念・目標

宇治市には豊富な歴史遺産や高級茶として全国に名高い宇治茶、宇治川をはじめとする自然・景観や源氏物語などを育んだ歴史文化など、古来より受け継がれてきた貴重な財産があります。これらは市民にとってかけがえのない財産であると同時に、宇治を訪れる観光客にとっては、魅力的な観光資源となるものです。本市では、こうした宇治市にしかない貴重な財産を市民全体で大切に守り、次代に引き継ぐとともに、多くの観光客に選ばれる、観光都市・宇治のブランド力を高めます。

前回案

計画の理念

宇治市には豊富な歴史遺産や高級茶として全国に名高い宇治茶、宇治川をはじめとする自然・景観や源氏物語などを育んだ歴史文化など、古来より受け継がれてきた貴重な財産があります。これらは市民にとってかけがえのない財産であると同時に、宇治を訪れる観光客にとっては、魅力的な観光資源となるものです。本市では、こうした宇治市にしかない貴重な財産を市民全体で大切に守り、次代に引き継ぐとともに、多くの観光客に選ばれる、輝き続ける観光都市・宇治を構築します。

計画の目標

宇治市の財産であり、観光資源でもある歴史遺産、宇治茶、自然・景観、歴史文化の重要性を市民、事業者、行政が共有し、その認知度を高めるとともに、観光の質を高め、地域経済の活性化、観光満足度の向上などを通じて、観光都市・宇治のブランド力を高めます。

2点目の指摘に対して、コンセプトとは本来どのようなものにすべきか改めて検討を行いました。

現在の案である「宇治茶と歴史・文化の香るまち」は、宇治の特産品である宇治茶、世界遺産をはじめとする歴史遺産、世界的な古典文学である源氏物語など、宇治の観光資源・観光特性をうまく表しているものですが、今回の計画の特徴を十分に表せているものではありません。

今回、観光戦略・アクションプランを提案する中で、5つの観光戦略を設定していますが、特に宇治茶をテーマとした観光振興を進めていく計画となっています。そこで、観光事業者をはじめ、市民の方にも「宇治の観光は、宇治茶でがんばっていかうとしているんだ。」とすぐにわかるコンセプトに変える必要があるのではないかと考えており、以下のような変更案を検討中です。

コンセプト案

- ・宇治茶に染まる・・・宇治茶で染める・・・
- ・ほっと一息、ほっとな場所
- ・

併せて、今回の数値目標についても追加したいと考えています。

宇治観光の主な目的は

寺院・神社、名所・旧跡	78%	
自然や風景、まちの景観	36%	
宇治茶	15%	30% 現行から2倍増
源氏物語	8%	
その他	9%	

参考：宇治でカフェ・スイーツ、喫茶などの飲食（予定）された方	35%
土産品としてお茶（茶葉）を購入（予定）された方	42%
宇治は宇治茶や宇治茶を使った特産品が豊富である 知っている + 多少知っている方	91%

第3回宇治市観光振興計画策定専門委員会からの意見・提案

観光戦略・アクションプラン

1. 宇治茶ブランド活用戦略

- ・ 茶業団体等が主催している既存事業と連携して観光と結びつける必要がある。
- ・ いろんなマップがあると観光客が困る。宇治市としてこのマップを置いてくれというようなものを作るべき。マップ自体はあふれている。どこが音頭をとって誰をターゲットにするのが大事である。
- ・ 大事なのは観光客に伝えることであり、それがマップなのか違うものなのかは検討すべき。
- ・ JR 宇治駅に限定せずに宇治に着いたら「お茶の香り」というような表現でもいいのでは。

2. 豊富な観光資源の保全・活用戦略

- ・ 季節感のある情報、花だよりなどをもっと広報する必要があるのでは。
- ・ 自然のままに放っておくと温暖化等の環境変化により木々が枯れてくる。観光客の自然に関する満足度は高く、植樹など維持管理をしていく視点が必要では。

3. 観光コンテンツの開発と魅力向上戦略

- ・ フィルムコミッションは経済波及効果も大きいですが、相手の使いたい条件に合わせないといけない。やみくもに受け入れるとイメージダウンの場合もある。
- ・ ロケ地として広報し、ロケーション誘客としての取り組みや番組を購入する手法もある。
- ・ 商店街の活性化は効果的な観光施策になる。イベント型でなく、年中取組型で情報発信しないと旅行会社には情報として入らない。

4. おもてなしの心を持った人材育成・環境整備戦略

- ・ 市民をどう巻き込むかが一番大事。点ではない面での観光を取り組むとき、面を作っている圧倒的多数は市民である。観光地づくりを行う観光事業者は圧倒的少数であり、それではまちづくりを行うのは非常に困難である。興味を持つ人を育てる。観光ボランティアガイドも必要である。

- ・ 太閤堤跡に観光案内所は不適。観光の動線から考えても京阪宇治駅にあるべき。

5. 情報発信能力向上戦略

- ・ 10年後を考えるとWiFiやフェイスブックなどはどうなっているかわからない。表現としては情報環境や時代に合わせた情報発信などに変える必要がある。
- ・ 鉄道事業者と連携した企画をもっとプロモーションしてもよいのでは。情報提供よりも積極的な書き方で「鉄道事業者との連携の強化」のようにジェネラルに入れた方がよい。
- ・ 国の大きな観光戦略に宇治も入って行くべき。
- ・ 京都市との連携に力を入れなければならない。
- ・ 伏見との連携だけではなく、周辺市町村との連携を入れてもよいのでは。書き方を検討すべき。

計画の推進に向けた取り組み

組織等の役割

- ・ 観光協会の役割は、情報発信・調整・連携となっているが、アクションプランの中では実施主体としても入っている。観光協会はどういう役割を果たしていくのか、推進主体としてどういう意思決定されるのかは重要であるので、観光協会でも十分に議論すべき。

フォローアップ体制

- ・ 計画策定に向け、観光協会内に観光事業者が一同に会して意見交換をする場ができたことは非常に意義深い。計画を作るだけでなく、実際にやってみて出てくる問題を定期的に意見交換する。さらに部会を設けて企画を練るなど柔軟な対応も出てくると思われる。